

令和3年度 授業PRカード

—新しい学習評価を踏まえた授業—

実施日時	月 日 () 校時
対象学級	年 組
場 所	
単 元 (題 材)	「 」 ※ 本時は、全 時間の 時間目
教科書使用ページ	ページから ページまで
面接希望日時	月 日 () 時 分から

「深い学び」の実現につながる学習活動（参考）

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、次のような学習活動を推進

- ① 知識を相互に関連付けてより深く理解
- ② 情報を精査して考えを形成
- ③ 問題を見いだして解決策を考案
- ④ 思いや考えを基に創造

学習指導要領解説「総則編」から

氏名

1 知識・技能

- ① 単元の評価規準（学習指導要領「2 内容」からの転記。ただし、文末は「～している。」）
- ② 本時における「おおむね満足できる」状況【B】（①を、本時に即して更に具体的に記す。）
- ③ 指導上の工夫点

【指導のポイント】 個別の知識・技能の習得状況とともに、それらを既存の知識・技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりさせる。

2 思考・判断・表現

- ① 単元の評価規準（学習指導要領「2 内容」からの転記。ただし、文末は「～している。」）
- ② 本時における「おおむね満足できる」状況【B】（①を、本時に即して更に具体的に記す。）
- ③ 指導上の工夫点

【指導のポイント】 次の三つの学習過程のいずれかを丁寧に扱うこと。（本時で扱う過程に■を付ける。）

- 物事の中から問題を見だし、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程
- 精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、互いの考えを伝え合い、多様な考えを理解したり、集団として考えを形成したりする過程
- 思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく過程

3 主体的に学習に取り組む態度

- ① 単元の評価規準（国研「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」参照）
- ② 本時における「おおむね満足できる」状況【B】（①を、本時に即して更に具体的に記す。）
- ③ 指導上の工夫点

【指導のポイント】 次の二つを重視し、よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組む態度を育むこと。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行わせる。
- ② 粘り強い取組を行う中で、自ら学習調整を行わせる。

<学習調整> 子供が自らの学習状況を振り返って把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、学習の改善に向かって自らの学びを調整すること。

【A】の子供への指導の手立て…

【C】の子供への指導の手立て…